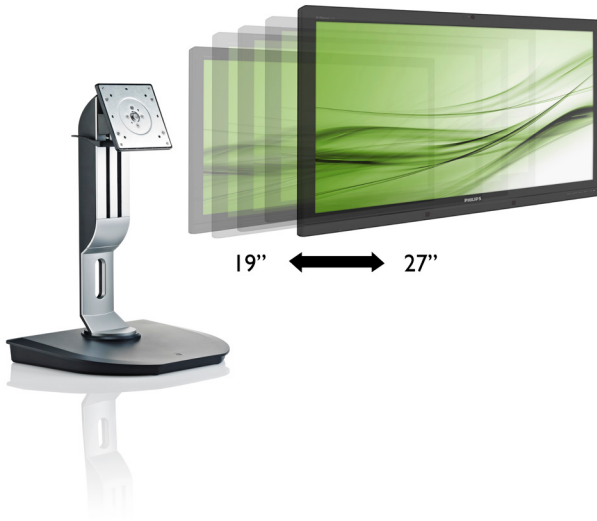




www.philips.com/welcome

JA ユーザーマニュアル	1
顧客ケアと保証	38
トラブルシューティング & FAQ	41

目次

1. 重要	1
1.1 安全のための注意事項とメンテナンス	1
1.2 表記の説明	2
1.3 製品と梱包材料の廃棄	3
2. Cloud monitor base の設定	4
2.1 取り付け	4
2.2 Cloud monitor base の操作	6
3. Cloud monitor base のファームウェア	7
3.1 これは何ですか?	7
3.2 電源キー機能	8
3.3 Cloud monitor base のユーザーインターフェース	8
4. 技術仕様	34
5. 規制情報	36
6. 顧客ケアと保証	38
6.1 顧客ケアと保証	38
7. トラブルシューティング & FAQ	41
7.1 トラブルシューティング	41

1. 重要

この電子ユーザーズガイドは、Philips Cloud monitor base を使用するユーザーを対象にしています。Cloud monitor base を使用する前に、本ユーザーマニュアルをよくお読みください。モニタの操作に関する重要な情報と注意が記載されています。

Philips 保証は、その操作指示に従い製品を使用目的に沿って適切に取り扱い、購入日、販売店名および製品のモデルと製造番号が記載されたオリジナルインボイスまたは現金領収書を提示した場合に適用されます。

1.1 安全のための注意事項とメンテナンス

⚠ 警告

本書で指定していない制御、調整または手順を使用すると、感電、電氣的障害、機械的災害につながる可能性があります。

Cloud monitor base を接続し使用しているときは、これらの指示を読んで従ってください。

操作

- Cloud monitor baseを直射日光やきわめて明るい光にさらしたりせず、他の熱源から離れた位置に設置してください。これらの環境に長時間さらされると、Cloud monitor baseが変色したり損傷する結果を招きます。
- 通気口に落下する可能性のある物体を取り除き、Cloud monitor baseの電子機器の適切な冷却を妨げないようにしてください。
- キャビネットの通気口を塞がないでください。
- Cloud monitor baseの位置を定めるとき、電源プラグとコンセントに容易に手が届くことを確認してください。
- 電源ケーブルやDC電源コードを取り外すことでCloud monitor baseの電源をオフにする場合、6秒待ってから電源ケーブ

ルやDC電源コードを取り付けて通常操作を行ってください。

- 常に、Philipsが提供する認可された電源コードを使用してください。電源コードが不足している場合、最寄りのサービスセンターにご連絡ください。(顧客ケア消費者情報センターにお問い合わせください)
- 操作中、Cloud monitor baseを強い振動や高い衝撃条件にさらさないでください。
- 操作または輸送中、Cloud monitor baseを強く打ったり落としたりしないでください。

メンテナンス

- Cloud monitor baseを損傷の可能性から保護するために、LCDパネルに過剰な圧力をかけないでください。Cloud monitor baseを移動するときには、フレームをつかんで持ち上げます。LCDパネルに手や指を置いてCloud monitor baseを持ち上げないでください。
- 長時間使用する予定がない場合、Cloud monitor baseのプラグを抜いてください。
- わずかに湿らせた布で清掃する必要がある場合、Cloud monitor baseのプラグを抜いてください。電源をオフにしているとき、画面を乾いた布で拭くことができます。ただし、アルコール、アンモニア基剤の液体などの有機溶剤を使用してCloud monitor baseを清掃することは絶対におやめください。
- 感電や装置の永久的な損傷の原因となるため、Cloud monitor baseを埃、雨、水、湿気の多い環境にさらさないでください。
- Cloud monitor baseが濡れたら、できるだけ速やかに乾いた布で拭いてください。
- Cloud monitor baseに異物や水が入ったら、直ちに電源をオフにし、電源コードを抜いてください。それから、異物や水を取り除き、メンテナンスセンターに送ってください。

1. 重要

- 熱、直射日光、極端な低温にさらされる場所でCloud monitor baseを保管したり、使用したりしないでください。
- お使いのCloud monitor baseの最高のパフォーマンスを維持し長く使用するために、Cloud monitor baseは次の温度および湿度範囲に入る場所で使用してください。
 - 温度: 0～40°C
 - 湿度: 20～80% RH

修理

- ケースカバーは専門の修理要員しか開けることができません。
- 修理または統合でマニュアルが必要な場合、最寄りのサービスセンターにお問い合わせください。(「消費者情報センター」の章を参照してください)
- 輸送情報については、「技術仕様」を参照してください。
- 直射日光下の車/トランクにCloud monitor baseを放置しないでください。

注

Cloud monitor base が正常に作動しない場合、または本書に記載された操作指示に従っているときに手続き方法が分からない場合、修理スタッフにお問い合わせください。

1.2 表記の説明

次のサブセクションでは、本書で使用する表記法について説明します。

注、注意、警告

本書を通して、テキストのブロック k にはアイコンが付き、太字またはイタリック体で印刷されています。これらのブロックには注、注意、警告が含まれます。次のように使用されます。

注

このアイコンは重要な情報とヒントを示し、コンピュータシステムをもっと有効に活用する助けとなるものです。

注意

このアイコンは、ハードウェアの損傷の可能性またはデータの損失を避ける方法に関する情報を示します。

警告

このアイコンは負傷する可能性を示し、その問題を避ける方法を示します。

警告には代わりの形式で表示され、アイコンが付かない場合もあります。このような場合、警告を具体的に提示することが関連する規制当局から義務づけられています。

1.3 製品と梱包材料の廃棄

廃電気電子機器 -WEEE



This marking on the product or on its packaging illustrates that, under European Directive 2012/19/EU governing used electrical and electronic appliances, this product may not be disposed of with normal household waste. You are responsible for disposal of this equipment through a designated waste electrical and electronic equipment collection. To determine the locations for dropping off such waste electrical and electronic, contact your local government office, the waste disposal organization that serves your household or the store at which you purchased the product.

Your new cloud monitor base contains materials that can be recycled and reused. Specialized companies can recycle your product to increase the amount of reusable materials and to minimize the amount to be disposed of.

All redundant packing material has been omitted. We have done our utmost to make the packaging easily separable into mono materials.

Please find out about the local regulations on how to dispose of your old cloud monitor base and packing from your sales representative.

Taking back/Recycling Information for Customers

Philips establishes technically and economically viable objectives to optimize the environmental performance of the organization's product, service and activities.

From the planning, design and production stages, Philips emphasizes the importance of making products that can easily be recycled. At Philips, end-of-life management primarily entails

participation in national take-back initiatives and recycling programs whenever possible, preferably in cooperation with competitors, which recycle all materials (products and related packaging material) in accordance with all Environmental Laws and taking back program with the contractor company.

Your display is manufactured with high quality materials and components which can be recycled and reused.

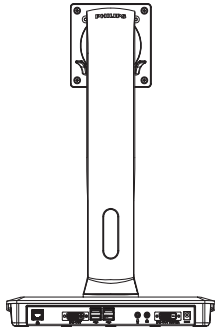
To learn more about our recycling program please visit

<http://www.philips.com/sites/philipsglobal/about/sustainability/ourenvironment/productrecyclingservices.page>

2. Cloud monitor base の設定

2.1 取り付け

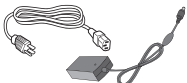
1 パッケージに含まれるもの



DVI



LANケーブル



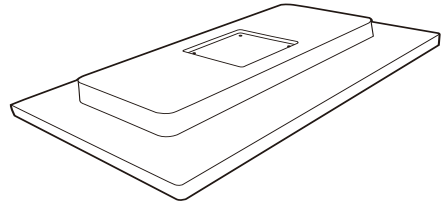
AC/DCアダプタ



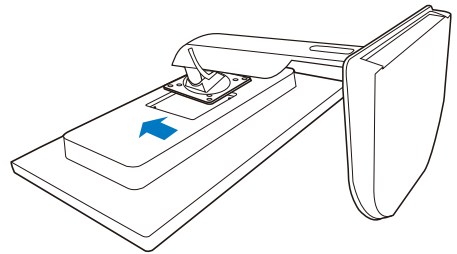
USBケーブル

2 お使いのモニタに Cloud monitor base を取り付ける

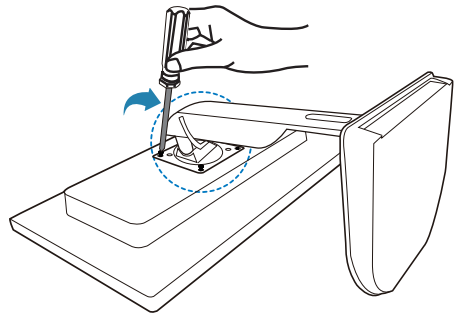
1. モニタ面を下にして、滑らかな面に置きます。画面にひっかき傷が付いたり損傷したりしないように注意してください。



2. VESAマウント部にベースがカチッとはめ込みます。

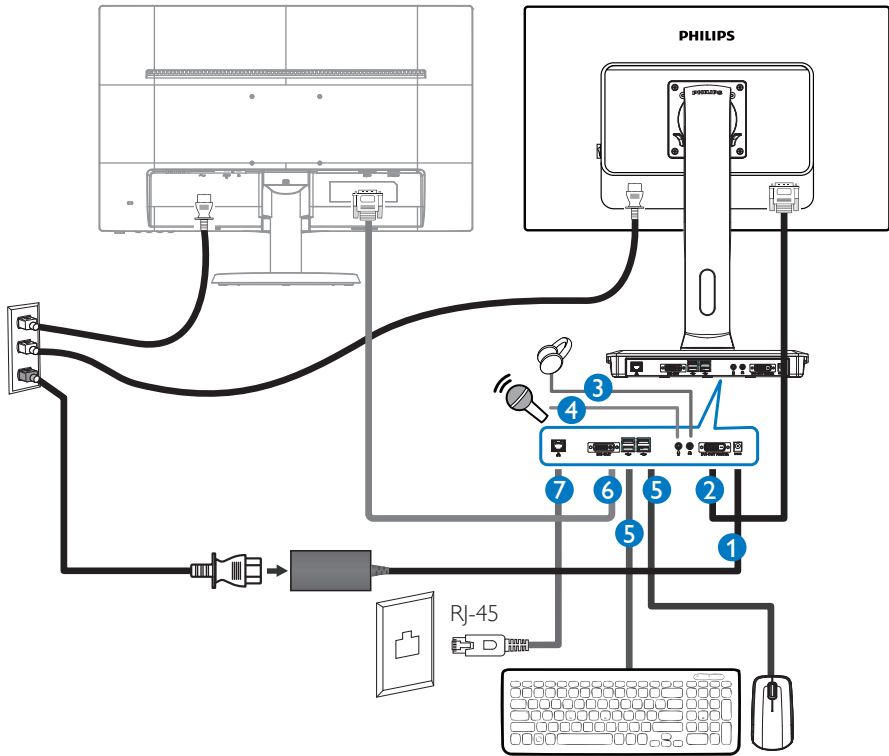


3. ドライバーを使って、4本のネジを締めてください。



2. Cloud monitor base の設定

3 モニタとサーバーへの接続



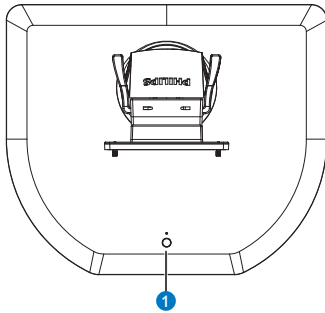
- ① 12V DC、3A アダプター入力
- ② DVI 出力マスター
- ③ イヤホンジャック
- ④ マイク入力
- ⑤ USB port 2.0
- ⑥ DVI 出力スレーブ
- ⑦ Ethernet (10/100/1000 Mbps)

Cloud monitor base への接続

1. モニタ信号ケーブルを、Cloud monitor baseの背面のビデオコネクタに接続します。
2. RJ-45 LANケーブルをCloud monitor baseの背面のLANポートに接続します。
3. Cloud monitor baseとモニタの電源コードを近くのコンセントに差し込みます。
4. Cloud monitor baseとモニタの電源をオンにします。モニタに画像が表示されたら、取り付けは完了です。

2.2 Cloud monitor base の操作

1 コントロールボタンの説明



①	⏻	電源のオン・オフ切り替え。
---	---	---------------

電源キーを押して、電源をオンにします。
電源キーを 6 秒間押したままにすると、
電源がオフになります。

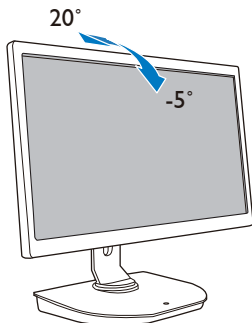
注

お使いの Cloud monitor base が DC オフモードの場合、ホストサーバー管理者は Wake On LAN (WOL) 機能を利用でき、WOL が有効なときは電源 LED が 1 秒間隔で点滅します。

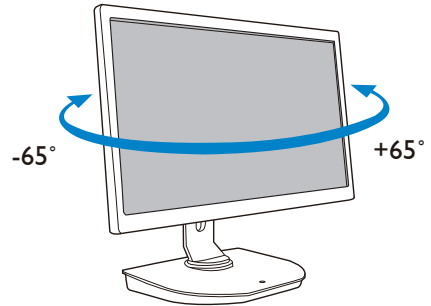
Cloud monitor base が DC オフモードの場合、USB ポートは 5V のスタンバイ電力をサポートしていません。

2 物理的機能

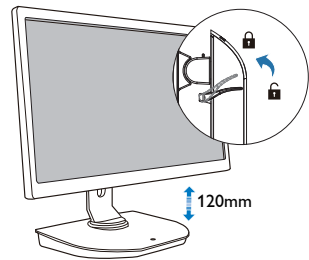
傾き



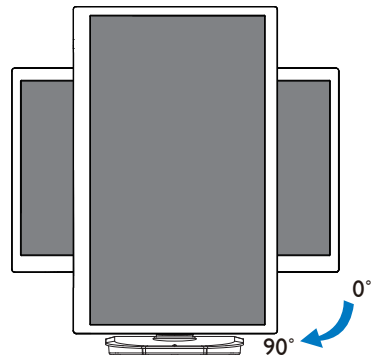
スイベル



高さ調節



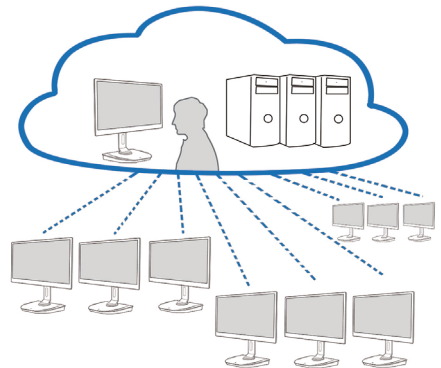
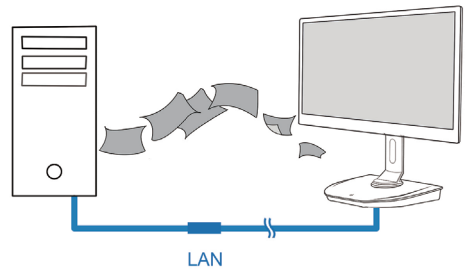
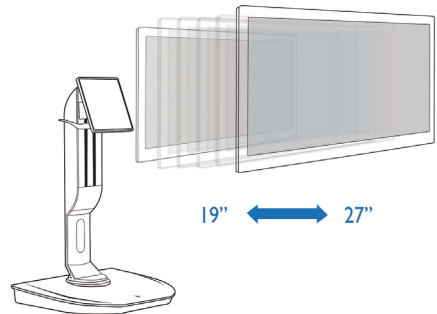
ピボット



3. Cloud monitor base のファームウェア

3.1 これは何ですか？

Philips Cloud monitor base は仮想デスクトップインフラストラクチャー（VDI）用に設計されたゼロ/シンククライアントソリューションです。VDI は IT 組織に大きな柔軟性、管理性、セキュリティ、コスト削減を提供します。VDI を使用すると、IT 管理者はより簡単に新しいシステムおよびアップデートの変更を組織に適用するための IT ニーズに対応できます。VDI の集中化された性質はまた、システムの優れた管理性とセキュリティを IT 管理者に提供します。さらに、VDI を使用して、IT 組織はインフラストラクチャおよび電力コストの削減によって、IT セットアップのコストを節約できます。Philips Cloud monitor base は VESA マウント規格を持った既存の 19 - 27 インチ / 48.2 - 68.6cm モニタを柔軟に取り付けできます。



3.2 電源キー機能

1 Cloud monitor base の操作

1. 電源キーを短く押して、電源をオンにします。
2. 電源キーを6秒間押したままにすると、電源がオフになります。
3. AC電源を差し込むと、電源LEDが1秒間点灯し、その後消えます。このアクションはWOL機能を待機状態にセットし、Cloud monitor baseの電源はオフになります。
4. Cloud monitor baseがDCオフモードの場合、USBポートは5Vのスタンバイ電力をサポートしません。

3.3 Cloud monitor base のユーザーインターフェース

1 Cloud monitor base を使用するための接続

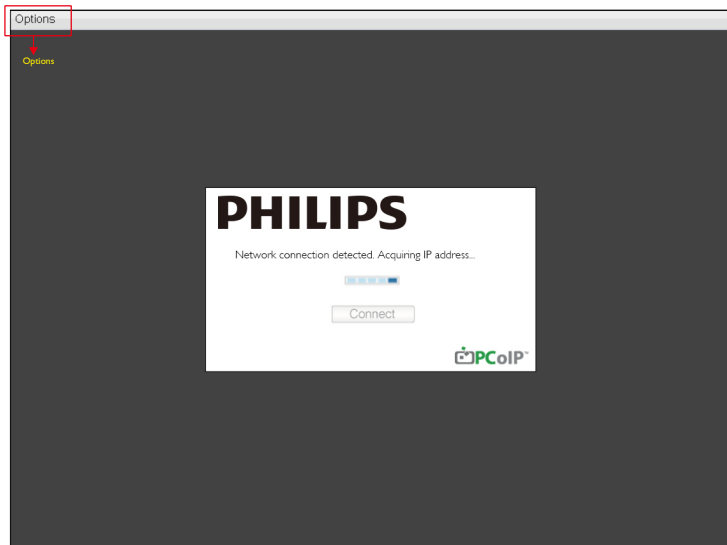
1. LANケーブルを使用して、ルーターとCloud monitor baseを接続します。
2. キーボードとマウスをCloud monitor baseに接続します。
3. 電源コードを使用して、Cloud monitor baseをコンセントに接続します。
4. 電源ボタンを押して、Cloud monitor base機能の電源をオンにします。

2 オンスクリーンディスプレイ(OSD)

デバイスの電源を入れ、PCoIP セッションが進行中ではない場合、オンスクリーンディスプレイ (OSD) のローカル GUI がクライアントに表示されます。OSD を使用すると、ユーザーは [Connect (接続)] ウィンドウからホストデバイスに接続できます。

[Connect (接続)] ウィンドウでは、管理用ウェブインターフェースが提供する機能の一部を提供する [Options (オプション)] ページにアクセスすることが可能です。

[Options (オプション)] ページにアクセスするには、[Connect (接続)] ウィンドウの [Options (オプション)] メニューをクリックします。



3 Connect (接続) ウィンドウ

クライアントが管理されたスタートアップまたは自動再接続に設定されている場合を除き、[Connect (接続)] ウィンドウがスタートアップ時に表示されます。

管理ウェブインターフェースの[Upload(アップロード)]メニューから代替画像をアップロードして、[Connect (接続)] ボタンの上に表示されるログを変更することができます。

[Connect (接続)] ウィンドウの右下にあるネットワークアイコンは、ネットワーク接続ステータスを示しています。

ネットワークアイコンの上の赤い×印は、ネットワークが正しく接続されていない、または接続がまだ初期化中(クライアント起動中など)であることを意味します。

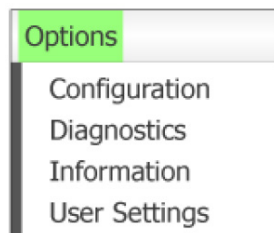
	ネットワーク未接続	ユーザーはネットワーク接続中アイコンが表示されるまで待ってください。
	ネットワーク接続中	

4 Connect (接続) ボタン

[Connect (接続)] ボタンをクリックすると、PCoIP セッションが開始します。PCoIP 接続が保留中の場合、OSD ローカル GUI は「Connection Pending (接続保留中)」メッセージを表示します。接続が確立されると、OSD ローカル GUI は消え、セッション画像が表示されます。

**5 OSD Options (オプション) メニュー**

オプションを選択すると、設定ウィンドウが表示されます。



- Configuration (設定)

このオプションでは、network settings(ネットワーク設定)、session type(セッションタイプ)、language(言語)、other settings(その他の設定)など、デバイスのさまざまな設定を行うことができます。

3. Cloud monitor base のファームウェア

- Diagnostics (診断)
このオプションは、デバイスの問題解決に役立ちます。
- Information (情報)
このオプションを使用すると、デバイスの特定の詳細を表示できます。
- User Settings (ユーザー設定)
このオプションは、ユーザーが証明書確認モード、マウス、キーボード、ディスプレイ、トポロジー、およびPCoIPプロトコル画質を定義することができます。

Configuration (設定) ウィンドウ

管理ウェブインターフェースの [Configuration (設定)] オプションおよび OSD では、デバイスのためのさまざまな設定を行うことができます。

Network (ネットワーク) タブ

[Initial Setup (初期設定)] ページまたは [Network (ネットワーク)] ページからホストおよびクライアントネットワーク設定を行うことができます。このページでパラメーターを更新後、[Apply (適用)] をクリックして変更を保存します。

Configuration

Network IPv6 Label Discovery Session Language OSD Display Reset

Change the network settings for the device

Enable DHCP: ☒

IP Address: 192, 168, 1, 101

Subnet Mask: 255, 255, 255, 0

Gateway: 192, 168, 1, 1

Primary DNS Server: 0, 0, 0, 0

Secondary DNS Server: 0, 0, 0, 0

Domain Name:

FQDN:

Ethernet Mode: Auto

Unlock OK Cancel Apply

- Enable DHCP (DHCPを有効にする)
[Enable DHCP (DHCPを有効にする)] を有効にすると、デバイスはDHCPサーバーに接続し、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイIP、DNSサーバーを割り当てます。無効の場合は、デバイスはこれらのパラメーターを手動で設定する必要があります。

- IP Address(IPアドレス)
デバイスのIPアドレス。DHCPが無効の場合、このフィールドは有効なIPアドレスを設定する必要があります。DHCPが有効な場合、このフィールドは編集できません。
- Subnet Mask(サブネットマスク)
デバイスのサブネットマスク。DHCPが無効の場合、このフィールドは有効なサブネットマスクを設定する必要があります。DHCPが有効な場合、このフィールドは編集できません。
- Gateway(ゲートウェイ)
デバイスのゲートウェイIPアドレス。DHCPが無効の場合、このフィールドは必須です。DHCPが有効な場合、このフィールドは編集できません。
- Primary DNS Server(プライマリDNSサーバー)
デバイスのプライマリDNS IPアドレス。このフィールドはオプションです。Connection Managerを使用してDNSサーバーのIPアドレスを設定した場合、アドレスはIPアドレスではなくFQDNとして設定することができます。
- Secondary DNS Server(セカンダリDNSサーバー)
デバイスのセカンダリDNS IPアドレス。このフィールドはオプションです。Connection Managerを使用してDNSサーバーのIPアドレスを設定した場合、アドレスはIPアドレスではなくFQDNとして設定することができます。
- Domain Name(ドメイン名)
使用するドメイン名(例:domain.local)。このフィールドはオプションです。このフィールドは、クライアントのホストまたはドメインを指定します。
- FQDN
ホストまたはクライアントの完全修飾ドメイン名。デフォルト値はpcoip-host-<MAC>またはpcoipportal-<MAC>です。<MAC>はホストまたはクライアントのMACアドレスです。使用の際にはドメイン名が付加されます(例:pcoip-host-<MAC>.domain.local)。このフィールドは、このページでは読み取り専用です。
- Ethernet Mode(イーサネットモード)
ホストまたはクライアントのイーサネットモードを設定します。
 - Auto(自動)
 - 100 Mbps全二重
 - 10 Mbps全二重10 Mbps 全二重または 100 Mbps 全二重を選択して [Apply (適用)] をクリックすると、警告メッセージが表示されます。「警告: PCoIP デバイスで自動ネゴシエーションが無効になっているとき、スイッチでもこれを無効にする必要があります。さらに、PCoIP デバイスとスイッチは、同じ速度で、同じデュプレックスパラメーターを使用するように設定することが必要です。異なるパラメーターでは、ネットワーク接続性が失われる結果となることがあります。継続しますか?」 [OK] をクリックすると、パラメーターが変更されます。

● 注

ほとんどの場合、イーサネットモードは Auto(自動) に設定してください。10 Mbps 全二重または 100 Mbps 全二重は、他のネットワーク機器(例:スイッチ)も 10 Mbps 全二重または 100 Mbps 全二重で運用するように設定されている場合にのみ使用します。イーサネットモードを正しく設定しないと、PCoIP プロトコルがサポートしない半二重でネットワークが動作することがあります。セッションは著しく低下し、最終的には中断されます。

IPv6 タブ

[IPv6] ページでは、IPv6 ネットワークに接続されている PCoIP デバイスの IPv6 を有効にすることができます。

Configuration

Network IPv6 Label Discovery Session Language OSD Display Reset

Change the IPv6 network settings for the device

Enable IPv6: ☐

Link Local Address:

Gateway:

Enable DHCPv6: ☒ /64

Primary DNS:

Secondary DNS:

Domain Name:

FQDN:

Enable SLAAC: ☒ /64

Enable Manual Address: ☐

Manual Address:

Unlock OK Cancel Apply

- Enable IPv6 (IPv6の有効化)
このフィールドを有効にすると、PCoIPデバイスでIPv6を有効化します。
- Link Local Address (リンクローカルアドレス)
このフィールドは自動的に入力されます。
- Gateway (ゲートウェイ)
ゲートウェイアドレスを入力します。
- Enable DHCPv6 (DHCPv6の有効化)
このフィールドを有効にして、お使いのデバイスでダイナミックホストコンフィギュレーションプロトコルバージョン6 (DHCPv6) を設定します。
- Primary DNS (プライマリDNS)
デバイスのプライマリDNS IPアドレス。DHCPv6が有効な場合、このフィールドは自動的にDHCPv6サーバーによって設定されます。
- Secondary DNS (セカンダリDNS)
デバイスのセカンダリDNS IPアドレス。DHCPv6が有効な場合、このフィールドは自動的にDHCPv6サーバーによって設定されます。

- Domain Name (ドメイン名)
ホストまたはクライアントが使用するドメイン名 (例: domain.local)。DHCPv6が有効な場合、このフィールドは自動的にDHCPv6サーバーによって設定されます。
- FQDN
ホストまたはクライアントの完全修飾ドメイン名。DHCPv6が有効な場合、このフィールドは自動的にDHCPv6サーバーによって設定されます。
- Enable SLAAC (SLAACの有効化)
このフィールドを有効にして、お使いのデバイスでステートレスアドレス自動設定 (SLAAC) を設定します。
- Enable Manual Address (手動アドレスの有効化)
このフィールドを有効にして、デバイスの手動 (静的) アドレスを設定します。
- Manual Address (手動アドレス)
デバイスのIPアドレスを入力します。

[Label (ラベル)] タブ

[Label (ラベル)] ページはホストまたはクライアントから利用できます。[Label (ラベル)] ページでは、デバイスの情報を追加することができます。

Portal Label パラメーターは、管理ウェブインターフェースを使用しても設定できます。

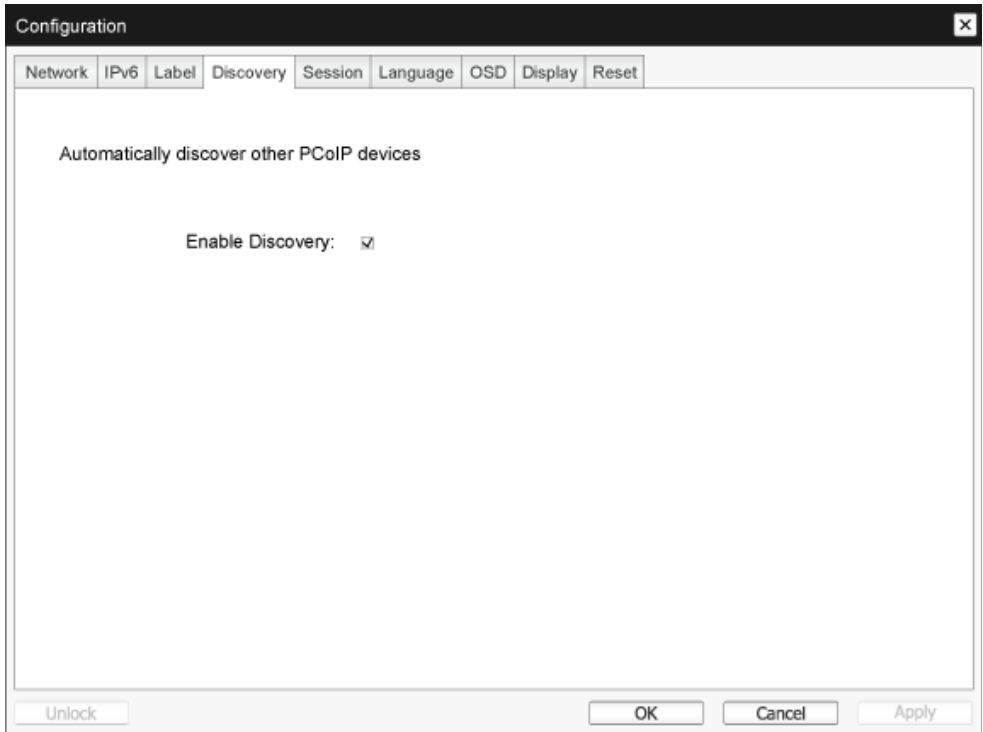
The screenshot shows a 'Configuration' window with a tabbed interface. The 'Label' tab is selected. The window title is 'Configuration' with a close button. The tabs are: Network, IPv6, Label, Discovery, Session, Language, OSD, Display, and Reset. The main content area is titled 'Configure the device identification'. It contains three input fields: 'PCoIP Device Name' with the value 'pcoip-portal-d0667b8753ba', 'PCoIP Device Description', and 'Generic Tag'. A note states: 'Note: When DHCP is enabled the PCoIP Device Name is sent to the DHCP server as the requested hostname.' At the bottom, there are four buttons: 'Unlock', 'OK', 'Cancel', and 'Apply'.

- PCoIP Device Name (PCoIPデバイス名)
PCoIPデバイス名によって管理者がホストまたはポータルに論理名を与えることを許可している場合。デフォルト値はpcoip-host-MACまたはpcoip-portal-MACです。MACはホストまたはポータルのMACアドレスです。
- PCoIP Device Description (PCoIPデバイスの説明)
デバイスのエンドポイントの場所など、説明と追加情報。ファームウェアはこのフィールドを使用しません。管理者が使用するためにのみ提供されます。
- Generic Tag (一般的なタグ)
デバイスの一般的なタグ情報。ファームウェアはこのフィールドを使用しません。管理者が使用するためにのみ提供されます。

Discovery (検出) タブ

[Discovery Configuration (検出設定)] ページの設定を使用すると、PCoIP システムでのホストおよびクライアントの検出を省き、複雑なシステムの設定とメンテナンスの手間を大幅に削減します。この検出メカニズムは DNS SRV 検出とは無関係です。

SLP 検出が機能するためには、サブネット間でマルチキャストトラフィックを転送するようにルーターを設定する必要があります。DNS-SRV 検出はほとんどのデプロイメントがこれを許可していないため、推奨される検出メカニズムです。



- Enable Discovery (検出の有効化)
[Enable Discovery (検出の有効化)] オプションを有効にすると、デバイスはネットワーク内での場所について事前情報を必要とせずに SLP 検出を使用して、動的にピアデバイスを検出します。これは複雑なシステムの設定とメンテナンスの手間を大幅に削減します。

SLP 検出では、マルチキャストを許可するように設定されたルーターが必要です。DNS-SRV 検出は推奨される方法です。

Session (セッション) タブ

[Session (セッション)] ページでは、ホストまたはクライアントデバイスがピアデバイスへ接続する、または接続を承認する方法を設定します。

Session (セッション) パラメーターは、管理ウェブインターフェースを使用しても設定できます。

- Connection Type (接続タイプ)
[Session (セッション)] ページから直接セッション接続タイプを選択すると、特定の設定オプションが表示されます。

- DNS Name or IP Address (DNS名またはIPアドレス)
ホストのIPアドレスまたはDNS名を入力します。この設定は、クライアントからのみ利用できます。
- Advanced (詳細)
詳細についてはTERADICIガイド (www.teradici.com) をご覧ください。

Language(言語)タブ

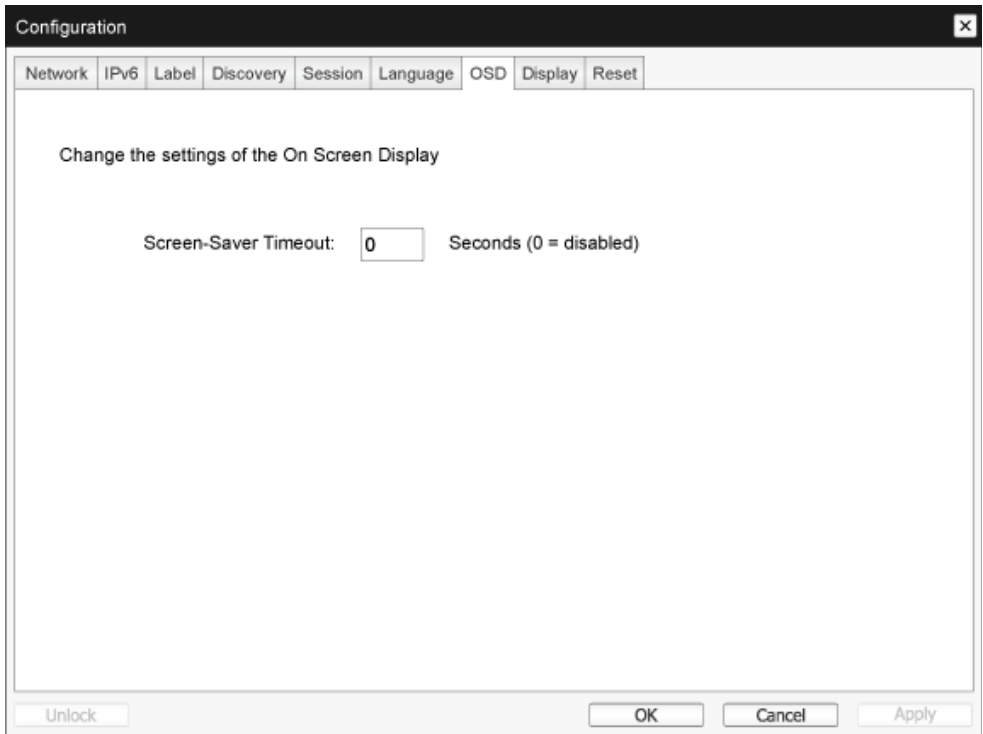
[Language (言語)] ページでは、ユーザーインターフェースの言語を変更できます。

この設定はローカル OSD GUI に影響を与えます。これはクライアントからのみ利用できません。Language パラメーターは、管理ウェブインターフェースを使用しても設定できます。

- Language(言語)
OSD言語を設定します。この設定はOSD言語のみを決定します。これは実際のユーザーセッションの言語設定に影響しません。
サポート言語: English(英語)、French(フランス語)、German(ドイツ語)、Greek(ギリシャ語)、Spanish(スペイン語)、Italian(イタリア語)、Portuguese(ポルトガル語)、Korean(韓国語)、Japanese(日本語)、Traditional Chinese(繁体字中国語)、Simplified Chinese(簡体字中国語)
- Keyboard Layout(キーボード配列)
キーボード配列を変更します。ユーザーがセッションを開始すると、この設定は仮想マシンから制御されます。Windowsのグループポリシーオブジェクト(GPO)が、キーボード配列設定を許可するように設定されている場合、ユーザーのセッション中に設定が適用されます。Windows GPOが設定を許可するように設定されていない場合、設定は適用されません。

OSD タブ

[OSD] ページでは、On Screen Display（オンスクリーンディスプレイ）パラメーターを使用して、スクリーンセーバーのタイムアウトを設定できます。



- Screen-Saver Timeout (スクリーンセーバーのタイムアウト)
クライアントは接続されたディスプレイを低電力モードに設定する前に、スクリーンセーバーのタイムアウトを設定します。秒単位でタイムアウトモードを設定できます。最大タイムアウト値は9999秒です。0秒に設定すると、スクリーンセーバーは無効になります。

[Display (ディスプレイ)] タブ

[Display (ディスプレイ)] ページでは、拡張ディスプレイ識別データ (EDID) オーバーライドモードを有効にできます。

この機能は OSD からのみ利用できます。

通常の動作では、ホストコンピューターの GPU は、モニタの機能を決定するためにゼロクライアントに接続されたモニタを照会します。場合によっては、例えば特定の KVM デバイスを介して接続される場合には、クライアントが EDID 情報を読み出せないような方法でモニタをクライアントと接続することもあります。このページのオプションは、GPU にデフォルトの EDID 情報を知らせるためにクライアントを設定します。

ディスプレイオーバーライドを有効にすると、接続されたモニタと互換性を持たないデフォルトのモニタ表示情報を使用するように強制され、ブランクモニタとなる可能性があります。

3. Cloud monitor base のファームウェア

ます。有効な EDID 情報がなく、モニタ表示特性が分かっている場合のみ、ディスプレイオーバーライドを有効にしてください。

Configuration

Network IPv6 Label Discovery Session Language OSD Display Reset

Advertise default EDID if no monitor is detected
WARNING: Only enable when display EDID not available

Enable display override: ☐

Specify native resolution to use when default EDID is used
WARNING: If the monitor screen stays black after overriding the native resolution, unplug and plug the monitor cable to reset back to default resolution

Enable native resolution override: ☐

Default EDID native resolution 0: Default

Default EDID native resolution 1: Default

Unlock OK Cancel Apply

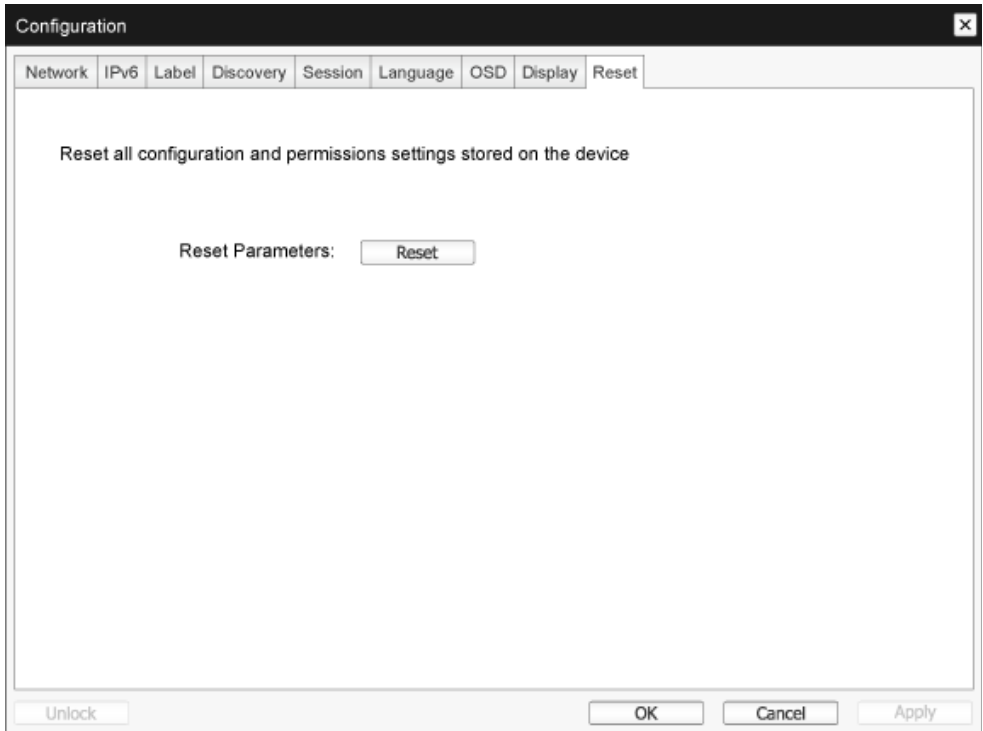
- Enable display override (ディスプレイオーバーライドの有効化)
このオプションは、レガシーシステムを意図しています。モニタを検出できない、またはクライアントに接続されていないホストに、デフォルトのEDID情報を送信するようにクライアントを構成します。Windows 7以前のバージョンのWindowsでは、ホストがEDID情報を持たないときはモニタが接続されていないと見なされ、再確認も行なわれません。このオプションは、クライアントのセッション中にホストが常にEDID情報を持つことを確実にします。
このオプションを有効にすると、次のデフォルト解像度が送信されます。
 - 800×600 @60 Hz
 - 1024×768 @60 Hz (ネイティブの解像度を送信)
 - 1280×800 @60 Hz
 - 1280×960 @60Hz
 - 1280×1024 @60 Hz
 - 1600×1200 @60 Hz
 - 1680×1050 @60 Hz
 - 1920×1080 @60 Hz
 - 1920×1200 @60 Hz

[Reset (リセット)] タブ

[Reset Parameters (リセットパラメーター)] ページでは、オンボードのフラッシュメモリに格納されている工場出荷時のデフォルト値に設定およびパーミッションをリセットすることができます。

リセットは管理ウェブインターフェースを使用して開始もできます。

パラメーターを工場出荷時のデフォルト値にリセットしても、ファームウェアを元に戻したり、カスタム OSD ロゴを消去したりしません。



- Reset Parameters (パラメーターのリセット)
このボタンをクリックすると、確認のメッセージが表示されます。これは間違ってリセットされることを防ぎます。

[Diagnostics (診断)] ウィンドウ

[Diagnostic (診断)] メニューには、トラブルシューティングに役立つランタイム情報および機能のページへのリンクが含まれます。

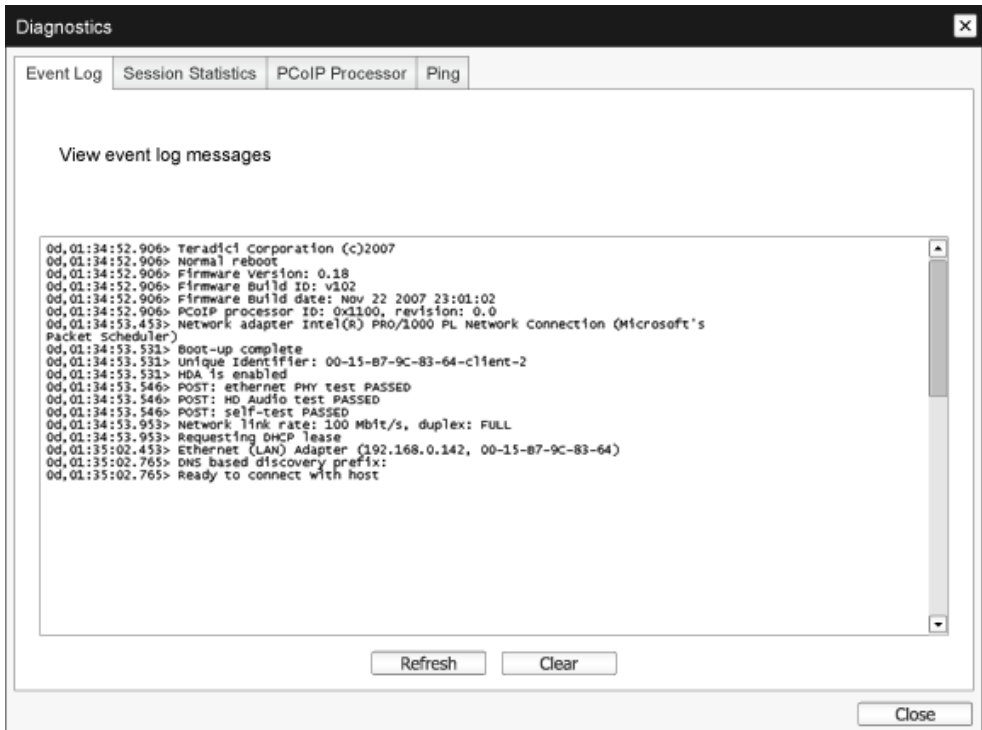
[Event Log (イベントログ)] タブ

[Event Log (イベントログ)] ページでは、ホストまたはクライアントからのログメッセージを表示または消去することができます。

管理ウェブインターフェースでは、ログのメッセージ詳細レベルを制御するデバイスのログフィルター設定を変更することができます。フィルターを「terse (簡素)」に設定すると、デバイスは短い、簡潔なメッセージを記録します。

[Event Log (イベントログ)] ページでは、ログ記録プログラムメッセージ用の IETF 標準に合致するイベントを収集およびレポートするために syslog を有効および定義することができます。

Event Log (イベントログ) は、管理ウェブインターフェースを使用しても開始できます。



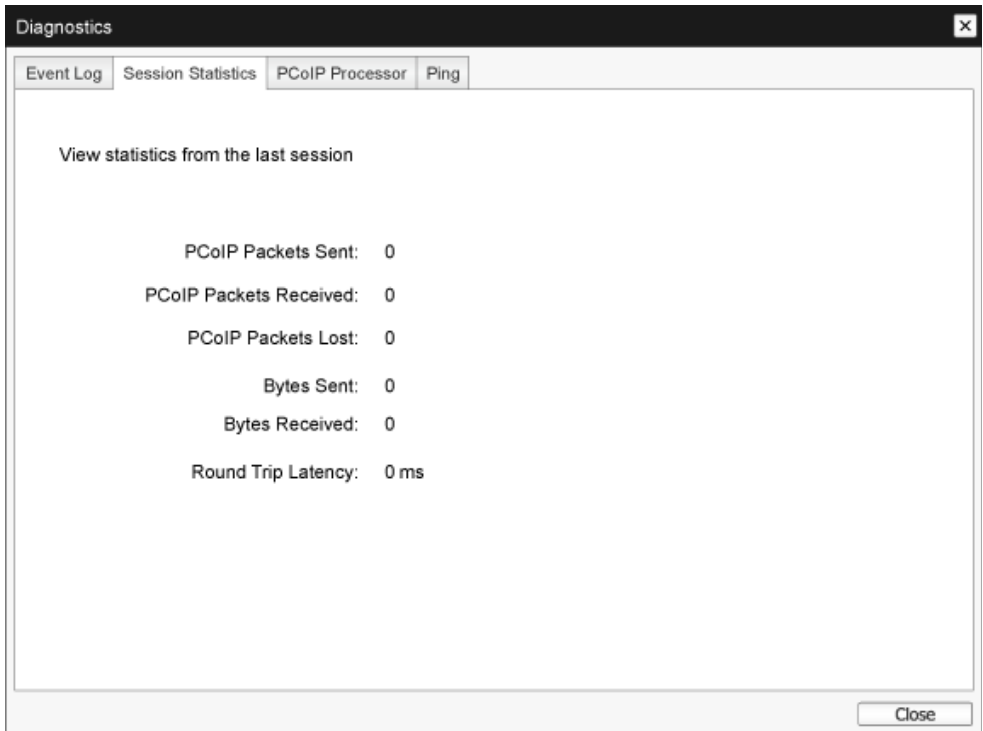
- View event log message (イベントログメッセージの表示)

[View event log messages (イベントログメッセージの表示)] フィールドでは、タイムスタンプ情報を持ったログメッセージが表示されます。2種類のボタンが利用できます。

- Refresh (更新)
表示されるイベントログメッセージを更新するには、[Refresh (更新)] ボタンを選択します。
- Clear (消去)
クリックすると、デバイスに保存されたすべてのイベントログメッセージを削除します。

Session Statistics (セッション統計情報) タブ

[Session Statistics (セッション統計情報)] ページでは、セッションがアクティブなときに現在の統計情報を表示することができます。セッションがアクティブでない場合には、最後のセッションの統計情報を表示できます。Session Statistics (セッション統計情報) は管理ウェブインターフェースを使用しても表示できます。

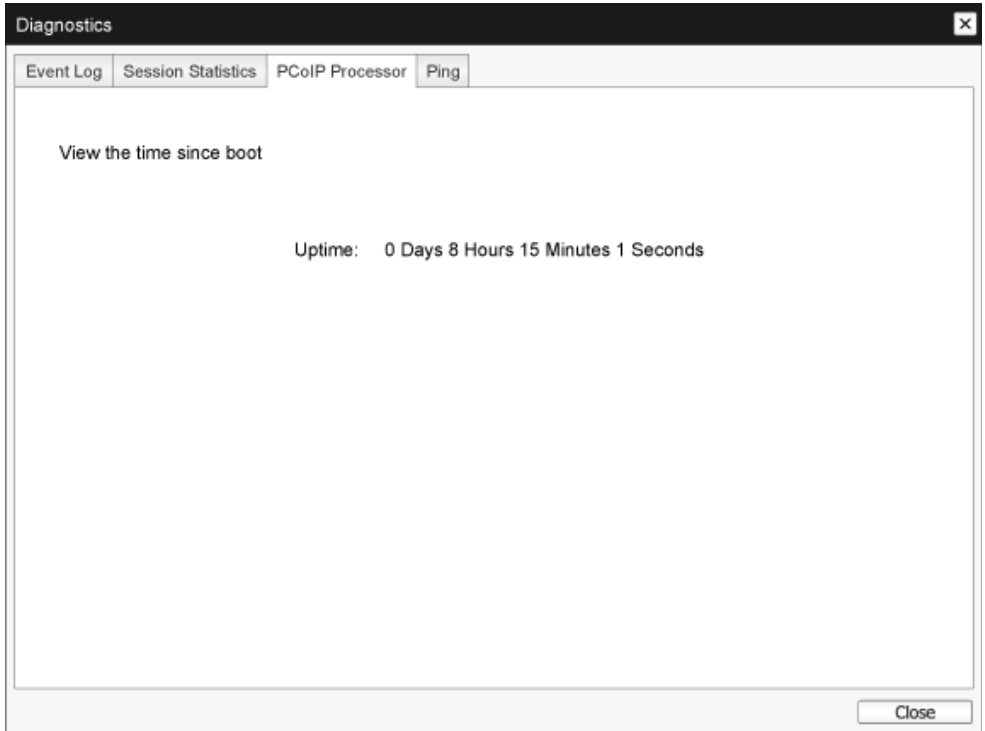


- PCoIP/パケット統計情報
 - PCoIP Packets Sent (PCoIP送信/パケット)
現在/最後のセッションで送信したPCoIP/パケットの合計数。
 - PCoIP Packets Received (PCoIP受信/パケット)
現在/最後のセッションで受信したPCoIP/パケットの合計数。
 - PCoIP Packets Lost (PCoIP損失/パケット)
現在/最後のセッションで損失したPCoIP/パケットの合計数。
- バイト統計
 - Bytes Sent (送信/バイト)
現在/最後のセッションで送信した合計バイト数。
 - Bytes Received (受信/バイト)
現在/最後のセッションで受信した合計バイト数。
- Round Trip Latency (往復遅延)
最小、平均、最大の往復PCoIPシステム (例: ホストからクライアントへ行き、ホストに戻る) とネットワーク遅延 (ミリ秒) (+/- 1 ms)。

PCoIP Processor (PCoIP プロセッサー) タブ

[PCoIP Processor (PCoIP プロセッサー)] ページでは、ホストまたはクライアントをリセットし、また最後に起動してからのクライアント PCoIP プロセッサーの稼働時間を表示できます。

PCoIP プロセッサーの稼働時間は、管理ウェブインターフェースを使用しても表示できます。



Ping タブ

[Ping] ページでは、IP ネットワークをまたいで到達可能であるかを確認するために、デバイスに ping を実行することができます。これは、ホストが到達可能かを調べるのに役立ちます。ファームウェアのリリース 3.2.0 以降では、ping コマンドの「断片化しない」フラグを強制することで、最大 MTU サイズを決めるためにこの機能を使用できます。

Diagnostics

Event Log Session Statistics PCoIP Processor Ping

Determine if a host is reachable across the network

Destination:

Interval: seconds

Packet Size: bytes

Packets:

Sent: 0

Received: 0

Start Stop

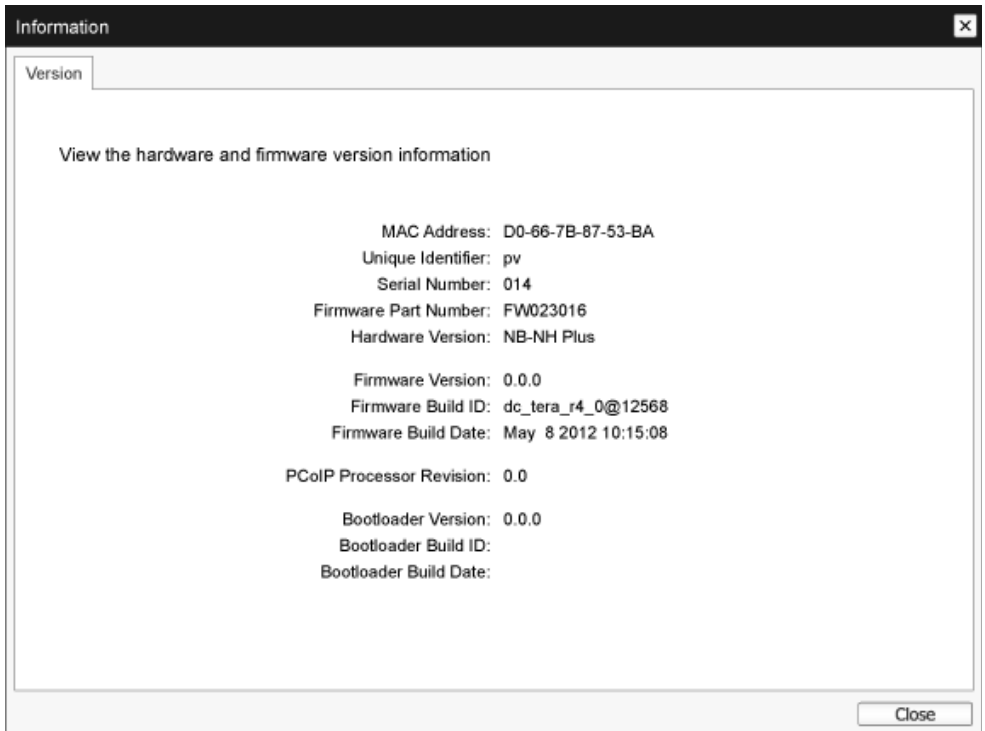
Close

- Ping設定
 - Destination (宛先)
pingを実行するIPアドレスまたはFQDN
 - Interval (間隔)
pingパケットの間隔
 - Packet Size (パケットサイズ)
pingパケットのサイズ
- パケット
 - Sent (送信)
送信したpingパケットの数
 - Received (受信)
受信したpingパケットの数

Information (情報) ウィンドウ

[Information (情報)] ページでは、デバイスの詳細を確認できます。管理ウェブインターフェースは、バージョン、VPD、接続されたデバイスの情報を表示します。OSD では、デバイスのバージョン情報を確認できます。

[Version (バージョン)] ページでは、デバイスのハードウェアおよびファームウェアバージョンの詳細を確認できます。



- VPD情報
重要プロダクトデータ (VPD) とは、各ポータルまたはホストを一意に識別するために工場で設定された情報です。
 - MAC Address (MACアドレス)
ホスト/クライアントの一意なMACアドレス
 - Unique Identifier (一意な識別子)
ホスト/クライアントの一意な識別子
 - Serial Number (シリアル番号)
ホスト/クライアントの一意なシリアル番号
 - Firmware Part Number (ファームウェア部品番号)
現在のファームウェアの部品番号

3. Cloud monitor base のファームウェア

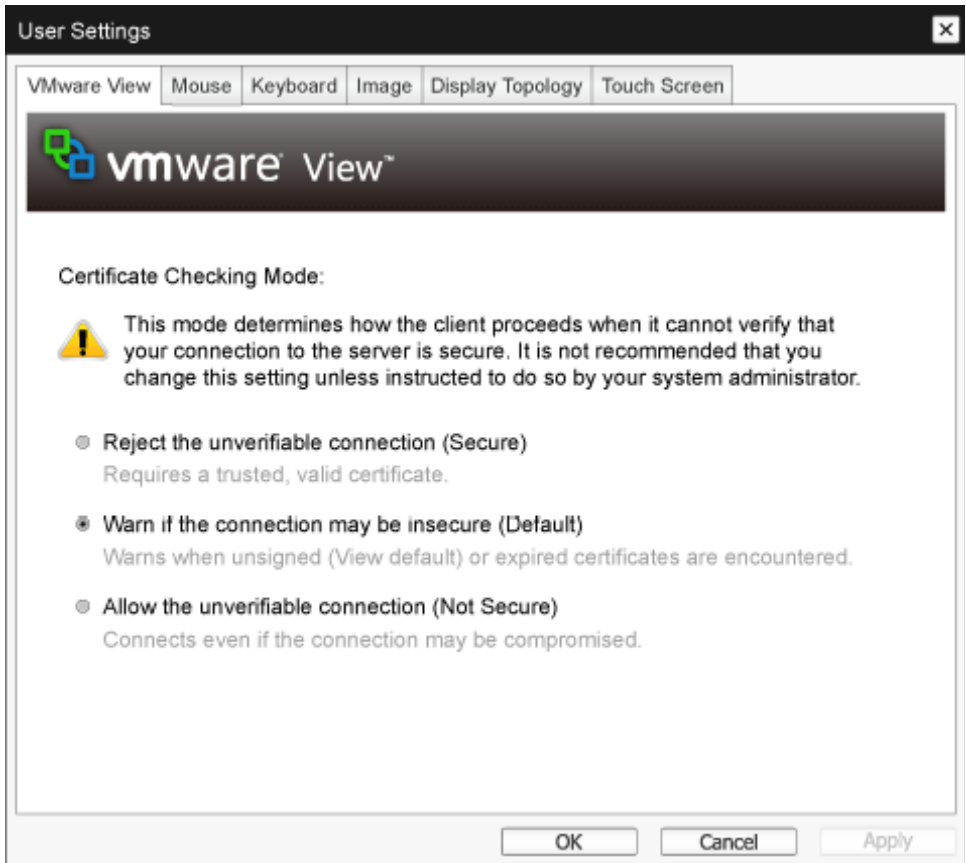
- Hardware Version (ハードウェアバージョン)
ホスト/クライアントのハードウェアバージョン番号
- ファームウェア情報
ファームウェア情報は現在のPCoIPファームウェア詳細を反映しています。
 - Firmware Version (ファームウェアバージョン)
現在のファームウェアのバージョン
 - Firmware Build ID (ファームウェアビルドID)
現在のファームウェアのリビジョンコード
 - Firmware Build Date (ファームウェアビルド日付)
現在のファームウェアのビルド日付
- PCoIP Processor Revision (PCoIPプロセッサリビジョン)
PCoIPプロセッサのシリコンリビジョン。シリコンのリビジョンBは1.0で示されています。
- Bootloader Information (ブートローダー情報)
ブートローダー情報は現在のPCoIPブートローダー詳細を反映しています。
 - Bootloader Version (ブートローダーバージョン)
現在のブートローダーのバージョン
 - Bootloader Build ID (ブートローダービルドID)
現在のブートローダーのリビジョンコード
 - Bootloader Build Date (ブートローダービルド日付)
現在のブートローダーのビルド日付

User Settings (ユーザー設定) ウィンドウ

[User Settings (ユーザー設定)] ページでは、証明書確認モード、マウスとキーボード設定、PCoIP プロトコル画質、ディスプレイポロジを定義するタブにアクセスできます。

VMware View タブ

[VMware View] ページでは、VMware View Connection Server を使用するための設定を行えます。管理ウェブインターフェースで VCS 証明書確認モードロックアウトが有効な場合、ユーザーはこのページから設定を変更できません。VMware View パラメーターは、管理ウェブインターフェースを使用しても設定できます。



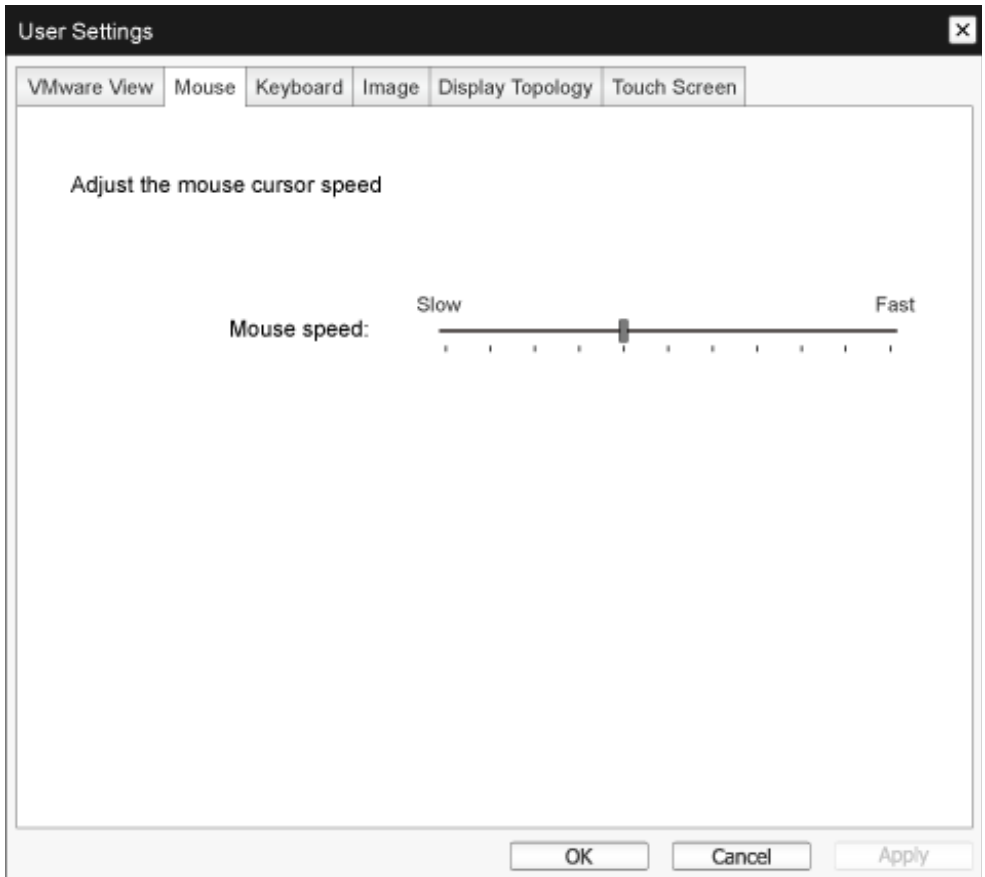
- Reject the unverifiable connection (検証できない接続を拒否)
信頼できる、有効な証明書がインストールされていない場合、接続を拒否するようにクライアントを設定します。
- Warn if the connection may be insecure (接続が安全でない場合には警告)
未署名または期限切れの証明書が検出された場合には、警告を表示するようにクライアントを設定します。証明書が自己署名されておらず、ゼロクライアントのトラストストアが空の場合には、警告メッセージを表示するようにもクライアントを設定できます。

3. Cloud monitor base のファームウェア

- Allow the unverifiable connection (検証できない接続を許可)
すべての接続を許可するようにクライアントを設定します。

Mouse (マウス) タブ

[Mouse (マウス)] ページでは、OSD セッションのマウス移動速度設定を変更できます。OSD マウス移動速度設定は、ローカルキーボードホストドライバの機能が使用されておらず、PCoIP セッションがアクティブな場合には、マウス移動設定に影響しません。この機能は OSD からのみ利用できます。これは管理ウェブインターフェースでは使用できません。



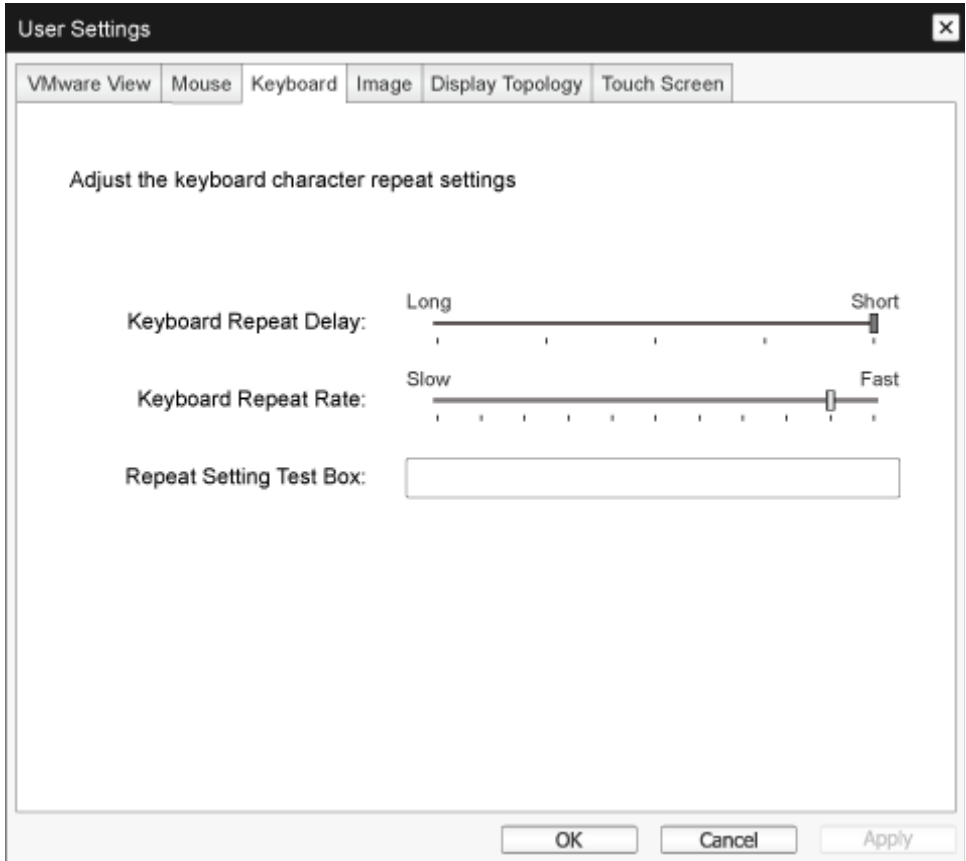
- Mouse Speed (マウス速度)
マウスの移動速度を設定します。
PCoIPホストソフトウェアからもマウス速度を設定できます。

Keyboard (キーボード) タブ

[Keyboard (キーボード)] ページでは、OSD セッション用のキーボードリピート設定を変更できます。

キーボード設定は、ローカルキーボードホストドライバの機能が使用されておらず、PCoIP セッションがアクティブな場合には、キーボード設定に影響しません。この設定は OSD からのみ利用できます。管理ウェブインターフェースでは表示されません。

PCoIP ホストソフトウェアからもキーボードのリピート設定を行うことができます。



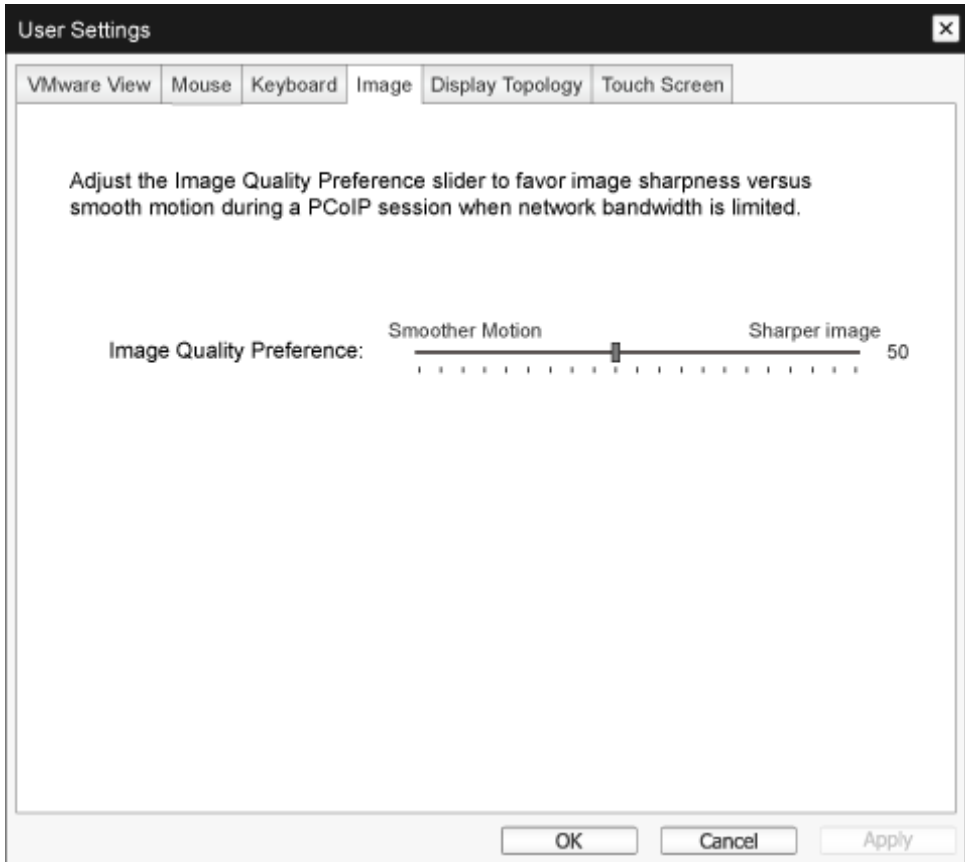
- Keyboard Repeat Delay (キーボードのリピート遅延)
ユーザーはクライアントキーボードのリピート遅延を設定できます。
- Keyboard Repeat Rate (キーボードのリピート速度)
ユーザーはクライアントキーボードのリピート速度を設定できます。
- Repeat Settings Test Box (リピート設定テストボックス)
ユーザーは選択したキーボード設定をテストできます。

Image(画像)

Image (画像) ページでは、PCoIP セッションの画質を変更することができます。これは PCoIP ゼロクライアントとリモートワークステーションの PCoIP ホストカードの間のセッションに適用されます。

VMware View 仮想デスクトップの画質設定を行うには、PCoIP セッション変数を調整します。

Image (画像) パラメーターは、管理ウェブインターフェースを使用しても設定できます。



- Image Quality Preference (画質優先度)
ネットワーク帯域幅が限られている場合、PCoIP セッション中に画像の鮮明さと滑らかさのどちらを優先するか、スライダーを使用して調整します。
PCoIP ホストソフトウェアがインストールされている場合、このフィールドはホストでもアクセス可能です。このスライダーはホストソフトウェアの [Image (画像)] タブの下にあります。この設定は、VMware View 仮想デスクトップリリース 5.0 以前で実行されている PCoIP セッションでは動作しません。

Display Topology (ディスプレイポロジー)

Display Topology (ディスプレイポロジー) ページでは、PCoIP セッションでのディスプレイの位置、回転、解像度を変更することができます。ゼロクライアントと仮想マシン (VM) 間の PCoIP セッションにディスプレイポロジー機能を適用するには、VMware View 4.5 以降が必要です。

ゼロクライアントと PCoIP ホスト間の PCoIP セッションにディスプレイポロジー機能を適用するには、ホストに PCoIP ホストソフトウェアをインストールする必要があります。

[Display Topology (ディスプレイポロジー)] タブは、管理ウェブインターフェースには対応するメニューはありません。

ディスプレイポロジー設定は、ゼロクライアントの [Display Topology (ディスプレイポロジー)] タブから OSD -> [Options (オプション)] -> [User Settings (ユーザー設定)] で変更します。VMware View を使用している場合には、仮想マシンの Windows Display Settings (Windows ディスプレイ設定) を使用してこれらの設定を変更しないでください。

User Settings

VMware View | Mouse | Keyboard | Image | **Display Topology** | Touch Screen

Configure the displays position, rotation and resolution

☒ Enable Configuration:

Display Layout: ☒ Horizontal ☐ Vertical

Alignment: **Top**

Primary:	Port:	Position:	Rotation:	Resolution:
☒	1	A	No rotation	1680X1050
☐	2	B	No rotation	Native

Revert

OK Cancel Apply

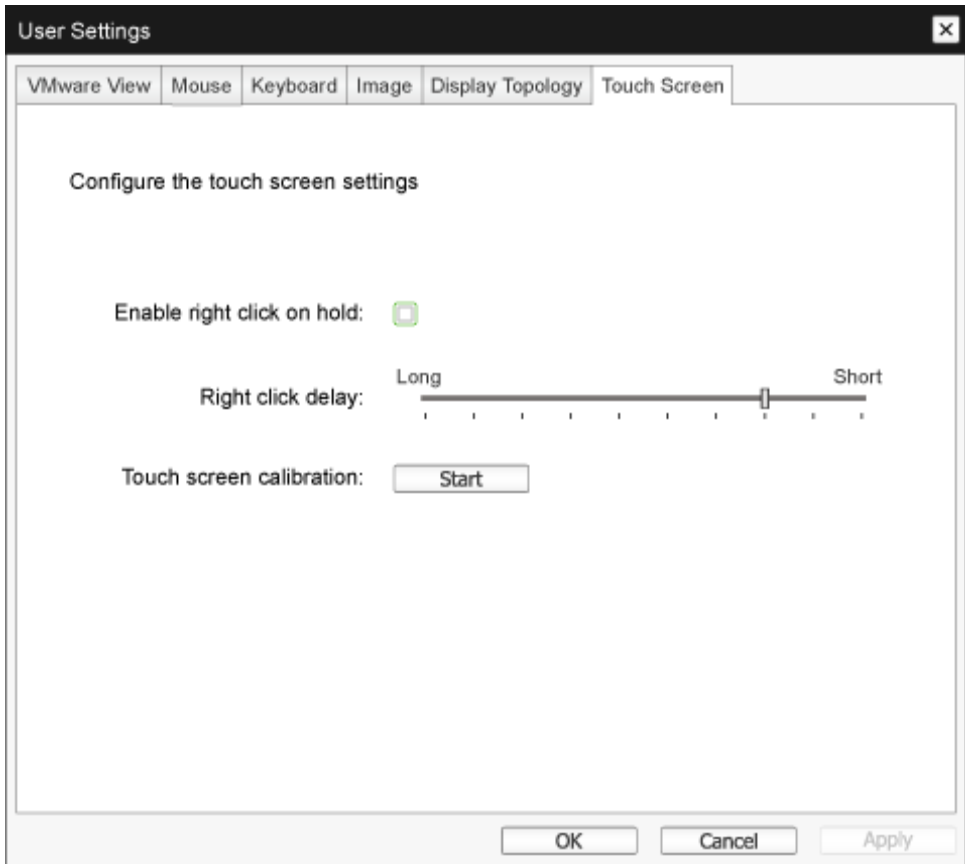
3. Cloud monitor base のファームウェア

- Enable Configuration (設定の有効化)
有効にするとデバイスの表示位置、回転、解像度設定を行うことができます。[Apply (適用)]または[OK]をクリックするとこれらの設定は保存され、デバイスをリセットすると適用されます。
- Display Layout (ディスプレイ配置)
希望するディスプレイ (AとB) のレイアウト (水平または垂直) を選択します。この設定は机の上のディスプレイの物理的な配置を反映する必要があります。
 - Horizontal (水平): AとBを水平に、AはBの左に配置することを選択します。
 - Vertical (垂直): AとBを垂直に、AをBの上に配置することを選択します。最大で、同時に2つのディスプレイを有効にできます。
- Alignment (位置合わせ)
AとBのディスプレイサイズが異なる場合に、位置合わせの方法を選択します。
この設定は、ディスプレイから他のディスプレイにカーソルを移動させるときに使用する画面領域に影響します。水平または垂直ディスプレイ配置の選択に応じて、ドロップダウンリストの中に[alignment (位置合わせ)]オプションが表示されます。
- Primary (プライマリ)
プライマリポートとするゼロクライアントのDVIポートを設定します。
プライマリポートに接続されたディスプレイは、プライマリディスプレイとなります (つまりPCoIPセッションを開始前にOSDメニューが含まれるディスプレイであり、セッション開始後はWindowsタスクバーを要求されるディスプレイ)。
 - Port 1 (ポート1): ゼロクライアントのDVI-1ポートをプライマリポートとして設定する場合に選択します。
 - Port 2 (ポート2): ゼロクライアントのDVI-2ポートをプライマリポートとして設定する場合に選択します。
- Position (位置)
ポート1およびポート2に物理的に接続されているディスプレイを指定します。
- Rotation (回転)
ポート1およびポート2のディスプレイの回転を設定します。
 - No rotation (回転なし)
 - 90° clockwise (90°時計回り)
 - 180° rotation (180°回転)
 - 90° counter-clockwise (90°反時計回り)
- Resolution (解像度)
ディスプレイ解像度は、仮想マシンまたはホストとゼロクライアント間のPCoIPセッションのために設定できます。ゼロクライアントはモニタのサポートされているディスプレイ解像度を検出し、ドロップダウンメニューにそれを取り込みます。デフォルトでは、ディスプレイのネイティブ解像度が使用されます。
- Revert (取り消し)
最後に保存した設定にこのページの設定をリセットします。

Touch Screen (タッチスクリーン)

Touch Screen (タッチスクリーン) ページでは、接続された Elo TouchSystems タッチスクリーンディスプレイの特定の設定を行い、校正できます。

Touch Screen (タッチスクリーン) ページは OSD からのみ利用できます。これは管理ウェブインターフェースでは使用できません。



- Enable right click on hold (押したままで右クリックを有効化)
このチェックボックスを選択すると、ユーザーがスクリーンにタッチしたまま数秒間保持すると、右クリックをエミュレートすることができます。無効にすると、右クリックはサポートされません。
- Right click delay (右クリック遅延)
右クリックをエミュレートするためにユーザーが画面をタッチ & ホールドする時間を Long (長い) から Short (短い) まで、ポインターの位置をスライドします。
- Touch screen calibration (タッチスクリーンの校正)
タッチスクリーンを初めてゼロクライアントに接続すると、校正プログラムが起動します。タッチスクリーン上で、表示された3つのターゲットをそれぞれタッチします。
校正をテストするには、モニタに沿って指を動かし、カーソルが後を追うことを確認します。成功しない場合には、校正プログラムは自動的に再起動します。
校正が終わると、座標がフラッシュに保存されます。
校正プログラムを手動で開始するには、OSDの[Touch Screen (タッチスクリーン)]ページから[Start (開始)]をクリックします。画面上の指示に従います。

4. 技術仕様

プラットフォーム	
プロセッサ	Teradici TERA2321
ROM	2Gbit DDR III
RAM	256MB NOR
システム	PCoIP
クライアントソリューション	Vmware
画像 / ディスプレイ	
垂直リフレッシュレート	56~75Hz
水平周波数	30~83KHz
モニタ最大解像度	1920 × 1200 @ 60Hz
サポートされる解像度	800 × 600 @ 60 Hz 1024 × 768 @ 60 Hz (ネイティブの解像度を送信) 1280 × 800 @ 60 Hz 1280 × 960 @ 60Hz 1280 × 1024 @ 60 Hz 1600 × 1200 @ 60 Hz 1680 × 1050 @ 60 Hz 1920 × 1080 @ 60 Hz 1920 × 1200 @ 60 Hz
エルゴノミクス	
傾き	-5° / +20°
スイベル	-65° / +65°
高さ調節	120mm +/-5mm
ピボット調節	90°
高さ調整ロックシステム	あり
モニタサイズ	19~27 インチの VESA マウント規格のモニタに対応
接続性	
信号入力 / 出力	DVI 出力マスター、DVI 出力
USB	USB 2.0 × 4
イヤホンジャック	あり
マイク入力	あり
LAN ポート	Rj 45
便宜	
ケーブル管理	あり
VESA マウント	100 × 100mm & 75 × 75mm (取り付けネジ付属)
ケーブル管理	あり
電源	
オンモード	8 W (標準)、20 W (最大)
スタンバイモード (S3)	<2 W (Wake On Lan または Wake On USB および電源オフを有効化)
オフモード (S5)	<0.5 W

4. 技術仕様

電源 LED インジケータ	オンモード: 白、スタンバイモード: アンバー
電源装置	内蔵、100-240VAC、50/60Hz
スタンバイモードをサポート	Wake on LAN (WOL)

寸法	
スタンド (WxHxD)	310 × 463 × 261 mm
重量	
スタンド	3.3 kg
製品 (梱包付き)	5.1 kg

操作条件	
温度範囲 (操作時)	0°C ~ 40°C
温度範囲 (非操作時)	-20°C ~ 60°C
相対湿度	20% ~ 80%
MTBF	30,000 時間

環境	
ROHS	あり
梱包	100% リサイクル可能
特定物質	100% PVC BFR を含まない筐体

準拠と基準	
規制認可	CB、CU、CE、EMF、ErP

キャビネット	
色	正面カラム: シルバー、背面カラム: 黒、ベース: 黒
仕上げ	テクスチャ

注

- Cloud monitor base が DC オフモードの場合、USB ポートは 5V のスタンバイ電力をサポートしていません。
- このデータは事前の通知なしに変更することがあります。パンフレットの最新バージョンをダウンロードするには、www.philips.com/support にアクセスしてください。
- Cloud monitor base は幅 $\geq$ 1024、高さ $\geq$ 720 の解像度をサポートし、両方の DVI-D 出力で最大 1920 × 1200 @ 60Hz (RB) をサポートします。
「RB」とは「空白期間を短くしたモード」を意味します。空白期間を短くしたモード 1920 × 1200 @ 60Hz および 1920 × 1080 @ 60Hz のみでサポートされます。空白期間を短くしたモードに対する標準の空白モードは、Cloud monitor base がサポートする範囲外のモードです。
- Cloud monitor base はホットプラグ EDID 検出をサポートしていません。Cloud monitor base が起動する前にユーザーが DVI-D ケーブルを接続した場合には、システムは対応するビデオ出力のみを有効にします。

5. 規制情報

CE Declaration of Conformity

This product is in conformity with the following standards

- EN60950-1:2006+A11:2009+A1:2010+A12:2011 (Safety requirement of Information Technology Equipment).
- EN55022:2010 (Radio Disturbance requirement of Information Technology Equipment).
- EN55024:2010 (Immunity requirement of Information Technology Equipment).
- EN61000-3-2:2006 +A1:2009+A2:2009 (Limits for Harmonic Current Emission).
- EN61000-3-3:2008 (Limitation of Voltage Fluctuation and Flicker) following provisions of directives applicable.
- 2006/95/EC (Low Voltage Directive).
- 2004/108/EC (EMC Directive).
- 2009/125/EC (ErP, Energy-related Product Directive, EC No. 1275/2008 and 642/2009 Implementing)
- 2011/65/EU (RoHS Directive)

And is produced by a manufacturing organization on ISO9000 level.

The product also comply with the following standards

- ISO9241-307:2008 (Ergonomic requirement, Analysis and compliance test methods for electronic visual displays).
- GS EK1-2000:2013 (GS mark requirement).
- prEN50279:1998 (Low Frequency Electric and Magnetic fields for Visual Display).
- MPR-II (MPR:1990/8/1990:10 Low Frequency Electric and Magnetic fields).

EN 55022 Compliance (Czech Republic Only)

This device belongs to category B devices as described in EN 55022, unless it is specifically stated that it is a Class A device on the specification label. The following applies to devices in Class A of EN 55022 (radius of protection up to 30 meters). The user of the device is obliged to take all steps necessary to remove sources of interference to telecommunication or other devices.

Pokud není na typovém štítku počítače uvedeno, že spadá do třídy A podle EN 55022, spadá automaticky do třídy B podle EN 55022. Pro zařízení zařazená do třídy A (chranné pásmo 30m) podle EN 55022 platí následující. Dojde-li k rušení telekomunikačních nebo jiných zařízení je uživatel povinen provést taková opatření, aby rušení odstranil.

Polish Center for Testing and Certification Notice

The equipment should draw power from a socket with an attached protection circuit (a three-prong socket). All equipment that works together (computer, monitor, printer, and so on) should have the same power supply source.

The phasing conductor of the room's electrical installation should have a reserve short-circuit protection device in the form of a fuse with a nominal value no larger than 16 amperes (A).

To completely switch off the equipment, the power supply cable must be removed from the power supply socket, which should be located near the equipment and easily accessible.

A protection mark "B" confirms that the equipment is in compliance with the protection usage requirements of standards PN-93/T-42107 and PN-89/E-06251.

Wymagania Polskiego Centrum Badań i Certyfikacji

Urządzenie powinno być zasilane z gniazda z przyłączonym obwodem ochronnym (gniazdo z kolkiem). Współpracujące ze sobą urządzenia (komputer, monitor, drukarka) powinny być zasilane z tego samego źródła.

Instalacja elektryczna pomieszczenia powinna zawierać w przewodzie fazowym rezerwową ochronę przed zwarciami, w postaci bezpiecznika o wartości znamionowej nie większej niż 16 A (amperów).

W celu całkowitego wyłączenia urządzenia z sieci zasilania, należy wyjąć wtyczkę kabla zasilającego z gniazda, które powinno znajdować się w pobliżu urządzenia i być łatwo dostępne.

Znak bezpieczeństwa "B" potwierdza zgodność urządzenia z wymaganiami bezpieczeństwa użytkowania zawartymi w PN-93/T-42107 i PN-89/E-06251.

Pozostałe instrukcje bezpieczeństwa

- Nie należy używać wtyczek adapterowych lub usuwać kolka obwodu ochronnego z wtyczki. Jeżeli konieczne jest użycie przedłużacza to należy użyć przedłużacza 3-żyłowego z prawidłowo połączonym przewodem ochronnym.
- System komputerowy należy zabezpieczyć przed nagłymi, chwilowymi wzrostami lub spadkami napięcia, używając eliminatora przepięć, urządzenia doposażającego lub bezszkłobieniowego źródła zasilania.
- Należy upewnić się, aby nic nie leżało na kablach systemu komputerowego, oraz aby kable nie były umieszczone w miejscu, gdzie można byłoby na nie nakładać lub porywać się o nie.
- Nie należy rozłączać napojów ani innych płynów na system komputerowy.
- Nie należy wychodzić zadanym przedmiotów do otworów systemu komputerowego, gdyż może to spowodować pożar lub porażenie prądem, poprzez zwarcie elementów wewnętrznych.
- System komputerowy powinien znajdować się z dala od grzejników i źródeł ciepła. Ponadto, nie należy blokować otworów wentylacyjnych. Należy unikać kładek luźnych papierów pod komputer oraz umieszczania komputera w ciasnym miejscu bez możliwości cyrkulacji powietrza wokół niego.

North Europe (Nordic Countries) Information

Placering/Ventilation

VARNING:

FÖRSÄKRA DIG OM ATT HUVUDBRYTARE OCH UTGÅNG ÄR LÄTTÅTKOMLIGA, NÄR DU STÄLLER DIN UTRUSTNING PÅ PLATS.

Placering/Ventilation

ADVARSEL:

SØRG VED PLACERINGEN FOR, AT NETLEDNINGENS STIK OG STIKKONTAKT ER NEMT TILGÆNGELIGE.

Paikka/Ilmankierto

VAROITUS:

SIIJOITA LAITE SITEN, ETTÄ VERKKOJOHTO VOIDAAN TARVITTAESSA HELPOSTI IRROTTAA PISTORASIASTA.

Plassering/Ventilasjon

ADVARSEL:

NÅR DETTE UTSTYRET PLASSERES, MÅ DU PASSE PÅ AT KONTAKTENE FOR STØMTILFØRSEL ER LETTE Å NÅ.

Ergonomie Hinweis (nur Deutschland)

Der von uns gelieferte Farbmonitor entspricht den in der "Verordnung über den Schutz vor Schäden durch Röntgenstrahlen" festgelegten Vorschriften.

Auf der Rückwand des Gerätes befindet sich ein Aufkleber, der auf die Unbedenklichkeit der Inbetriebnahme hinweist, da die Vorschriften über die Bauart von Störstrahlern nach Anlage III α 5 Abs. 4 der Röntgenverordnung erfüllt sind.

Damit Ihr Monitor immer den in der Zulassung geforderten Werten entspricht, ist darauf zu achten, daß

1. Reparaturen nur durch Fachpersonal durchgeführt werden.
2. nur original-Ersatzteile verwendet werden.
3. bei Ersatz der Bildröhre nur eine bauartgleiche eingebaut wird.

Aus ergonomischen Gründen wird empfohlen, die Grundfarben Blau und Rot nicht auf dunklem Untergrund zu verwenden (schlechte Lesbarkeit und erhöhte Augenbelastung bei zu geringem Zeichenkontrast wären die Folge). Der arbeitsplatzbezogene Schalldruckpegel nach DIN 45 635 beträgt 70dB (A) oder weniger.

 **ACHTUNG: BEIM AUFSTELLEN DIESERES GERÄTES DARAUF ACHTEN, DAß NETZSTECKER UND NETZKABELANSCHLUß LEICHT ZUGÄNGLICH SIND.**

6. 顧客ケアと保証

6.1 顧客ケアと保証

お客様の地域で有効な保証範囲の情報と追加サポート要件の詳細については、www.philips.com/supportWeb サイトにアクセスしてください。以下に一覧した最寄りの Philips 顧客ケアセンターの番号にお問い合わせになることもできます。

西ヨーロッパ地域の連絡先情報：

国	CSP	ホットライン番号	価格	営業時間
Austria	RTS	+43 0810 000206	€ 0.07	Mon to Fri : 9am - 6pm
Belgium	Ecare	+32 078 250851	€ 0.06	Mon to Fri : 9am - 6pm
Cyprus	Alman	+800 92 256	Free of charge	Mon to Fri : 9am - 6pm
Denmark	Infocare	+45 3525 8761	Local call tariff	Mon to Fri : 9am - 6pm
Finland	Infocare	+358 09 2290 1908	Local call tariff	Mon to Fri : 9am - 6pm
France	Mainteq	+33 082161 1658	€ 0.09	Mon to Fri : 9am - 6pm
Germany	RTS	+49 01803 386 853	€ 0.09	Mon to Fri : 9am - 6pm
Greece	Alman	+30 00800 3122 1223	Free of charge	Mon to Fri : 9am - 6pm
Ireland	Celestica	+353 01 601 1161	Local call tariff	Mon to Fri : 8am - 5pm
Italy	Anovo Italy	+39 840 320 041	€ 0.08	Mon to Fri : 9am - 6pm
Luxembourg	Ecare	+352 26 84 30 00	Local call tariff	Mon to Fri : 9am - 6pm
Netherlands	Ecare	+31 0900 0400 063	€ 0.10	Mon to Fri : 9am - 6pm
Norway	Infocare	+47 2270 8250	Local call tariff	Mon to Fri : 9am - 6pm
Poland	MSI	+48 0223491505	Local call tariff	Mon to Fri : 9am - 6pm
Portugal	Mainteq	+800 780 902	Free of charge	Mon to Fri : 8am - 5pm
Spain	Mainteq	+34 902 888 785	€ 0.10	Mon to Fri : 9am - 6pm
Sweden	Infocare	+46 08 632 0016	Local call tariff	Mon to Fri : 9am - 6pm
Switzerland	ANOVO CH	+41 02 2310 2116	Local call tariff	Mon to Fri : 9am - 6pm
United Kingdom	Celestica	+44 0207 949 0069	Local call tariff	Mon to Fri : 8am - 5pm

中国の連絡先情報：

国	コールセンター	顧客ケア番号
China	PCCW Limited	4008 800 008

北米の連絡先情報：

国	コールセンター	顧客ケア番号
U.S.A.	EPI-e-center	(877) 835-1838
Canada	EPI-e-center	(800) 479-6696

6. 顧客ケアと保証

中央および東ヨーロッパ地域の連絡先情報：

国	コールセンター	CSP	顧客ケア番号
Belarus	NA	IBA	+375 17 217 3386 +375 17 217 3389
Bulgaria	NA	LAN Service	+359 2 960 2360
Croatia	NA	MR Service Ltd	+385 (01) 640 1111
Czech Rep.	NA	Asupport	+420 272 188 300
Estonia	NA	FUJITSU	+372 6519900 (General) +372 6519972 (workshop)
Georgia	NA	Esabi	+995 322 91 34 71
Hungary	NA	Prof. Service	+36 1 814 8080 (General) +36 1814 8565 (For AOC&Philips only)
Kazakhstan	NA	Classic Service I.l.c.	+7 727 3097515
Latvia	NA	ServiceNet LV	+371 67460399 +371 27260399
Lithuania	NA	UAB Servicenet	+370 37 400160 (general) +370 7400088 (for Philips)
Macedonia	NA	AMC	+389 2 3125097
Moldova	NA	Comel	+37322224035
Romania	NA	Skin	+40 21 2101969
Russia	NA	CPS	+7 (495) 645 6746
Serbia&Montenegro	NA	Kim Tec d.o.o.	+381 11 20 70 684
Slovakia	NA	Datalan Service	+421 2 49207155
Slovenia	NA	PC H.and	+386 1 530 08 24
the republic of Belarus	NA	ServiceBy	+375 17 284 0203
Turkey	NA	Tecpro	+90 212 444 4 832
Ukraine	NA	Topaz	+38044 525 64 95
Ukraine	NA	Comel	+380 5627444225

ラテンアメリカ地域の連絡先情報：

国	コールセンター	顧客ケア番号
Brazil	Vermont	0800-7254101
Argentina		0800 3330 856

APMEA 地域の連絡先情報：

国	ASP	顧客ケア番号	営業時間
Australia	AGOS NETWORK PTY LTD	1300 360 386	Mon.~Fri. 9:00am-5:30pm
New Zealand	Visual Group Ltd.	0800 657447	Mon.~Fri. 8:30am-5:30pm
Hong Kong Macau	Company: Smart Pixels Technology Ltd.	Hong Kong: Tel: +852 2619 9639 Macau:Tel: (853)-0800-987	Mon.~Fri. 9:00am-6:00pm Sat. 9:00am-1:00pm
India	REDINGTON INDIA LTD	Tel: 1 800 425 6396 SMS: PHILIPS to 56677	Mon.~Fri. 9:00am-5:30pm
Indonesia	PT. CORMIC SERVISINDO PERKASA	+62-21-4080-9086 (Customer Hotline) +62-8888-01-9086 (Customer Hotline)	Mon.~Thu. 08:30-12:00; 13:00-17:30 Fri. 08:30-11:30; 13:00-17:30
Korea	Alphascan Displays, Inc	1661-5003	Mon.~Fri. 9:00am-5:30pm Sat. 9:00am-1:00pm
Malaysia	R-Logic Sdn Bhd	+603 5102 3336	Mon.~Fri. 8:15am-5:00pm Sat. 8:30am-12:30am
Pakistan	TVONICS Pakistan	+92-213-6030100	Sun.~Thu. 10:00am-6:00pm
Singapore	Philips Singapore Pte Ltd (Philips Consumer Care Center)	(65) 6882 3966	Mon.~Fri. 9:00am-6:00pm Sat. 9:00am-1:00pm
Taiwan	FETEC.CO	0800-231-099	Mon.~Fri. 09:00 - 18:00
Thailand	Axis Computer System Co., Ltd.	(662) 934-5498	Mon.~Fri. 8:30am~05:30pm
South Africa	Computer Repair Technologies	011 262 3586	Mon.~Fri. 8:00am~05:00pm
Israel	Eastronics LTD	1-800-567000	Sun.~Thu. 08:00-18:00
Vietnam	FPT Service Informatic Company Ltd. - Ho Chi Minh City Branch	+84 8 38248007 Ho Chi Minh City +84 5113.562666 Danang City +84 5113.562666 Can tho Province	Mon.~Fri. 8:00-12:00, 13:30- 17:30,Sat. 8:00-12:00
Philippines	EA Global Supply Chain Solutions ,Inc.	(02) 655-7777; 6359456	Mon.~Fri. 8:30am~5:30pm
Armenia Azerbaijan Georgia Kyrgyzstan Tajikistan	Firebird service centre	+97 14 8837911	Sun.~Thu. 09:00 - 18:00
Uzbekistan	Soniko Plus Private Enterprise Ltd	+99871 2784650	Mon.~Fri. 09:00 - 18:00
Turkmenistan	Technostar Service Centre	+(99312) 460733, 460957	Mon.~Fri. 09:00 - 18:00
Japan	フィリップスモニター・サ ポートセンター	0120-060-530	Mon.~Fri. 10:00 - 17:00

7. トラブルシューティング & FAQ

7.1 トラブルシューティング

このページでは、ユーザーにより修正できる問題を扱っています。これらのソリューションを試みても問題が解決されない場合、Philips 顧客サービス担当者にお問い合わせください。

1 よくある問題

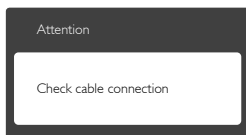
写真が表示されない (電源 LED が点灯しない)

- 電源コードがコンセントとモニタ背面に差し込まれていることを確認してください。
- まず、モニタ前面の電源ボタンがオフ位置にあることを確認してから、オン位置まで押します。

写真が表示されない (電源 LED が白くなっている)

- Cloud monitor baseの電源がオンになっていることを確認してください。
- 信号ケーブルがCloud monitor baseに適切に接続されていることを確認してください。
- モニタケーブルのコネクタ側に曲がったピンがないことを確認してください。曲がったピンがあれば、ケーブルを修理するか交換してください。
- 省エネ機能がアクティブになっている可能性があります

画面に次のようなメッセージが表示される



- モニタケーブルがCloud monitor baseに適切に接続されていることを確認してください。(また、クイックスタートガイドも参照してください)。

- モニタケーブルに曲がったピンがないか確認してください。
- Cloud monitor baseの電源がオンになっていることを確認してください。

煙やスパークの明らかな兆候がある

- いかなるトラブルシューティング手順の行わないでください
- 安全のため、直ちに主電源からモニタの接続を切ってください
- 直ちに、Philips顧客サービス担当者に連絡してください。



© 2014 Koninklijke Philips N.V. All rights reserved.

PhilipsとPhilips Shield EmblemはKoninklijke Philips N.V.の登録商標で、Koninklijke Philips N.V.からライセンスを受けて使用されています。

仕様は、事前の通知なしに変更することがあります。

バージョン: M4SB4B1927VE1T